

# 全国学力・学習状況調査と NIEについて

— 山 稔 議員



小学校の授業風景

全国学力テストの結果、文科省は、学力の底上げが進んだと分析しているが、活用問題は課題が残っていると言っており、県教委は、学力向上実行プランを策定し、言語活動の充実を図るよう指導しています。

NIEが各地に広がっているが、問題の正答率は伸び悩んでおり、国立教育政策研究所は「新聞は身近な題材の一つ。読み書きの能力をつけるためにも活用は必要」と言っています。

策研究所は「新聞は身近な題材の一つ。読み書きの能力をつけるためにも活用は必要」と言っています。

十分な分析はできていないが小学校では算数の基礎知識や伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項は正答率は高く、中学校では国語、数学とも応用力の正答率が全国平均を上回り、課題は小学校で知識の応用や活用に難があり、中学校では、情報をまとめて意見を書くことや理由、根拠を示して説明することです。

成績が悪かった学校の校長名を公表したいと言った県知事がいたが、見解をいただきたい。

## ピロリ菌検査に ペプシノゲン検査の 導入を

併せて今まで導入していなかった理由があれば伺います。

### 山 議員

改善策として学力向上実行プランを策定し、教育活動の工夫改善に取り組み、小中一貫教育で教職員が具体的な方策を協議し、問題解決や連続性を大切にした学力向上に努めている。

ピロリ菌が原因の慢性胃炎の除菌治療に健康保険が適用され、胃炎段階から除菌することで胃がん予防につながるという期待されています。ピロリ菌除菌で抑制できるのは、胃がんだけでなく全身疾患も改善でき、若年者の場合はほぼ胃がんの予防が可能と言われている。従来のX線検査よりも身体に負担が少なく、経済的負担も少ない、簡単な血液検査によるピロリ菌胃がん

### 福井町長

全国の市町村と同様、X線検査による胃がん検診を行っており、精密検査の必要な方は、内視鏡による検査を受けてもらっています。ABC検診は、胃がんを発見するものではないが、慢性胃炎の方の2分の1以上の方がピロリ菌が陽性で、胃がんの患者のピロリ菌陰性の方は、非常に稀であることなどから、同検診が胃がんの予防対策として大変有効であると考えています。ABC検診の有効性は、